# 観察手帳



(鳴き声、フン、食べあと、雪に残る足跡…)

五感を使って タデ原湿原を感じて みよう。 次は 出会えるかも しれないよ。

メモ

刻一刻と姿を変える花や景色…。次に来た時には今日とは違うタデ原湿原が待っています。

# **ACCESS**アクセス

#### 公共交通機関

・JR久大本線 豊後中村駅→コミュニティバス約50分→ 「九重登山口」バス停下車すぐ

## 自動車

■九重ICより ・九酔淫(県道40号

- ■湯布院ICより
- ・やまなみハイウェイ(県道11号)経由 …… 約40分
- ■阿蘇方面

お問い合せは

# 九重町役場 商工観光·自然環境課

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上 8-1 TEL.0973-76-3150 FAX.0973-76-2247 ホームページ https://www.town.kokonoe.oita.jp/

写真・情報提供/環境省、長者原ビジターセンター、九重ふるさと自然学校









# ラムサール条約とは?

## ラムサール条約って?

湿地は水鳥や魚、動植物など様々な生物を育みます。しかし、湿地は埋め立て等開発の対象になりやすく、その破壊をくい止める必要性が認識されるようになりました。湿地を国際的な資源として保全し、賢明に利用していくための条約です。

## 湿地って?

ラムサール条約における湿地は"水のあるところ"です。湿原や干潟の他にも、水田やダム等も含みます。

## ラムサール条約の目的「保全」「賢明な利用」「交流・学習・普及啓発」

保全 賢明な利用 (フィスコース)

普及啓発

## 保全

湿地は多様な生態系を育むだけではなく、飲み水としての 利用や、災害から私たちの生活を守ったり、文化を生み出す 等、人と自然とが相互に関わりあう場所です。湿地の保全は湿 地や動植物のみではなく、私たちの生活環境を保全すること に繋がります。

## 賢明な利用 (ワイズユース)

湿地の生態系を維持しつつ湿地から得られる恵みを持続的に活用することを「賢明な利用」といいます。ラムサール条約では人々の生活とのバランスがとれた保全を進めています。

## 交流·学習·普及啓発 (CEPA)

屋久島永田浜

湿地に関係する人々がともに学び、伝えあい、共有することによって湿地への理解を進めていきます。

# 日本のラムサール条約登録湿地

日本は1980年にラムサール条約に加盟し、北海道の釧路湿原を 皮切りに、2021年現在53ヶ所の湿地がラムサール条約に 登録されています。

従来は水鳥の生息地を主な対象として登録を 行ってきましたが、日本を代表する多様な タイプの湿地を登録する方針のもと、 水田やウミガメ産卵地等、様々な形態の 湿地を登録しています。

# にポリーワー・アメイルトロール、北海道の釧路湿原を、サール条約に

# タデ原湿原における「賢明な利用」って?

## ラムサール条約登録湿地 タデ原湿原

タデ原湿原は面積約38ha、標高約1,000mに位置する国内最大級の中間湿原です。周囲にはくじゅう連山が広がり、多様な地質や地形を反映した生態系をつくりだしています。また、湿原は寒冷で多雨な自然環境と合わせて、野焼き等による人の手によって今の形を維持しています。自然と人の営みによって維持されているタデ原湿原は、国際的にも重要な湿地として2005年に登録されました。

## タデ原湿原の「賢明な利用」とは?



#### ・景観を観光資源として利用

タデ原湿原は別府と阿蘇を結ぶやまなみハイウェイ沿いに位置し、登山口、飲食店、宿泊施設等が隣接する、大変アクセスの良い場所にあります。タデ原湿原の美しい景観は、季節ごとに多くの観光客を魅了しています。

#### ・木道の整備

木道の両側に転落防止用の添え木を設置し、 車椅子やベビーカーも安全に利用できるように

整備を行っています。タデ原湿原ではバリアフリー化を進めており、より多くの人にタデ原湿原を楽しんでもらえるよう環境整備を行っています。

※自然観察会も行っています。詳しくは、長者原ビジターセンター (0973-79-2154)にお問い合わせください。

# タデ原湿原を次世代に引き継ぐために…

#### ・湿原の維持

温帯に位置する日本において、湿原は放っておけばやがて森林になります。タデ原湿原では、かつては放牧のために野焼きを行い湿原を維持してきましたが、放牧が行われなくなった現在、地域のボランティアによって景観維持・文化継承のため野焼きが行われています。

## ·外来種駆除活動

希少な在来種が多く生育するタデ原湿原においても外来種の侵入が確認されています。これらの種は人の手や人の動きによって持ち込まれ、強い生命力によってタデ原湿原固有の動植物にとって代わるおそれがあります。タデ原湿原の個性を形づくる生態系を保全するために、外来種の侵入・定着を防ぐ取組みを官民一体となって進めています。





